

山スクール T1 実技④ 生駒山で読図

2021.10.10 Sunday

講師 谷池・田中

生徒 6名

ルート 石切駅🚶～辻子谷コース～ぬかた園地～ぼくらの広場～なるかわ園地森のレストハウス🚶～
神津嶽コース～枚岡神社（解散）

3～4時間のコースをじっくりと読図を行ないながら、一日行程としての講義を行なった。

現在地の確認、進行方向、谷と尾根地形の見分け、送電線の利用など、基本的な内容を履修した。



近鉄奈良線の石切駅にやってきましたあ♪

今日は山スクール T1 の実技、生駒山で読図のお勉強をして頂きます。



上石切町から辻子谷へ、コンパスと地図を見ながら歩きます。



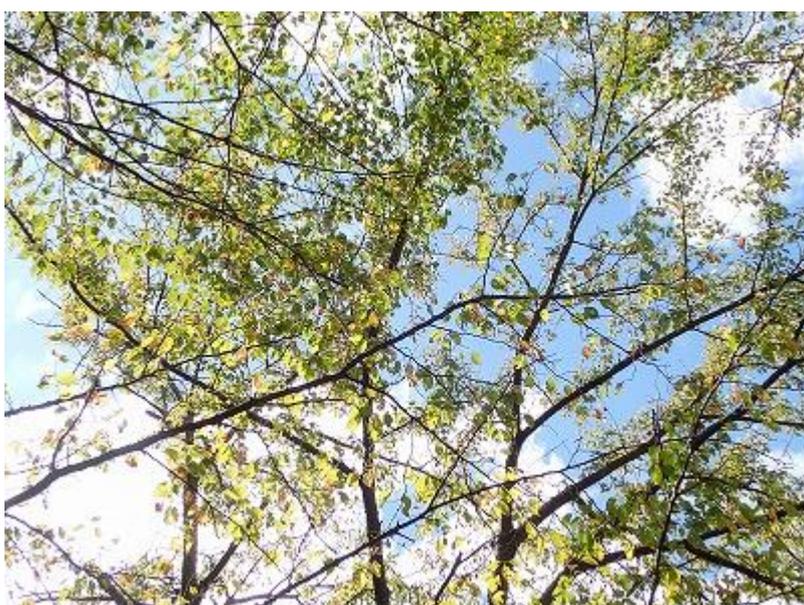
季節外れの暑い日となりました🌸



興法寺のお地藏さん



ポイントごとに現在地と進行方向をチェックします。





電波塔は貴重なランドマークです。



送電線と登山道がクロスすれば、ピンポイントで現在地が特定できます。



一日をかけてじっくりの読図講習会となりました。



生駒山、この展望は素晴らしかったです！

コンパスの正しい持ち方

周囲を確認

周囲に磁気の影響がないかをまず確認しましょう。送電線、ガードレール、ベルトのバックルなどに注意してください。

計測に適した姿勢を保つ

背筋を伸ばして立つ。

コンパスを手のひらに水平に置く。

肘は 90 度前後に曲げ、コンパスはお腹あたりで水平に保つ。

体の真正面に構える。



この姿勢は、目線とコンパスの進行線を一致させるため重要です。コンパスの針が、プレート上部に当たっていないことを確認しましょう。

読む時は真上から

正確に角度を読むために、回転板の中心の真上から度数目盛りを見ます。真上から見ないと、数度の誤差が出ます。

目的地の方向確認を覚えよう

用意するもの

- プレート型コンパス（商品名：シルバコンパス）
- [磁北線を引いた地形図](#)

コンパスの基本的な使い方、目的地の方向確認の手順を解説します。簡単な以下の 4 ステップです。

1. コンパスを地図にセット
2. リングを回す
3. コンパスを離す
4. 体を回転させる

1.コンパスを地図にセット

地図上の現在地と目的地を直線で結び、コンパスの長辺をその線に合わせる。



<注意点>

- コンパスの前後の向きに注意。目標方向に進行線が向くように置く。
- 目的地まで直進できない時は、ルート最初の直線部分にあてる。

2.リングを回す

- コンパスがずれないように押さえながら回転盤を回して、回転盤の矢印を磁北線と平行にする。
- 矢印は磁北側に平行に向ける。(南側に向けて平行にしない。)
- **ここではコンパスの針は無視する。**

3.コンパスを離す

- コンパスを地図から離し、コンパスを持って正しい姿勢（上記参照）をとる。
- セットしたリングは動かさない。

4.体を回転

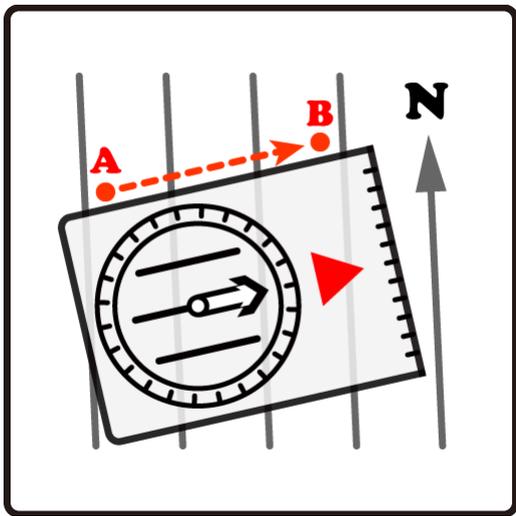
- 姿勢を維持したまま、回転盤の矢印と赤針が重なるまで体を回転させる。コンパスは動かさない。
- 矢印と赤針が重なったら顔を上げて、進行線の指す方向を見る。

これで目的地の方向に体が向きます。

今いる地点から次に曲がる地点までセット→その区間を歩き終わったら再度セット、を繰り返すことで、大きな方向ミスが格段に減ります。



現在地から目標セット

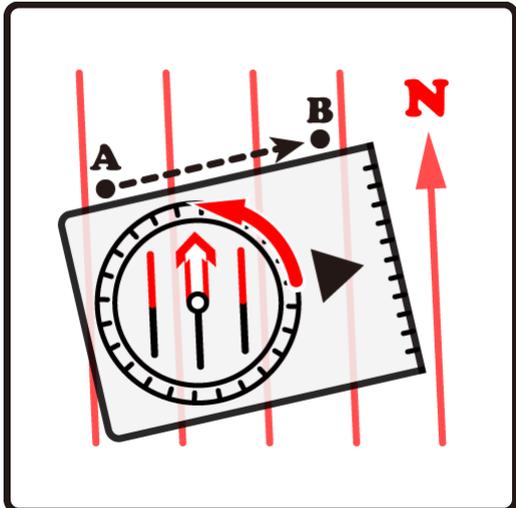


現在地と目標にコンパスの縁を合わせる

地図に、現在地 A と目標 B を書き入れます。

コンパスを地図上に置き、A と B の 2 点をコンパスの縁に合わせます。コンパスの向きは、A がランヤードホール、B がトラベルライン。

目標設定は、現在地からコンパスの長さの範囲に収まる距離が良いでしょう。

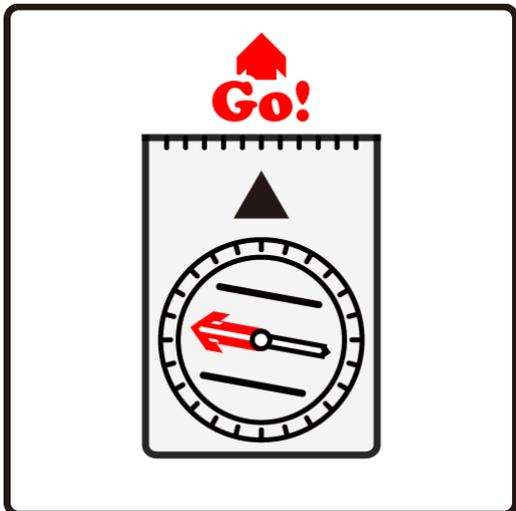


磁北線と導線を平行にする

コンパスは、地図上で現在地と目標にコンパスの縁を合わせたまま・・・

コンパスのダイヤルをグルッと回し・・・

地図の北が上とすれば、導矢の N も上を向けて、磁北線とコンパスの導線を平行にします。



導矢と磁針の N 極を合わせ Go!

コンパスを地図から離して、体の前で持ちます。

体の向きを変え、導矢と磁針の N 極を合わせます。

トラベルラインの示す方向、つまり体が向いている方向が進行方向です。

目標に進むコツ